

とむかわ

発行 社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
寒川町宮山 401 番地
寒川町健康管理センター内
電話 0467-74-7621
FAX 0467-74-5716
ホームページ
<http://www.t-samukawa.or.jp/~shakyo/>
Eメールアドレス shakyo@t-samukawa.or.jp

この広報紙は皆さまからお納めいただいた一般会費および賛助会費と共同募金配分金により作成・発行しています。



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。
今回は「社協ってどんな相談ができるの?」という多くの声にお答えし、
社協に寄せられる相談の一例をご紹介します。

急に車いすが必要に
なったのですが、
貸してもらえますか?

無料で
貸し出しを
しています。



高齢で一人暮らし…
これからの生活が不安。
お金の管理とか、
入院時の手続きとか…

まずはご相談ください。
福祉制度をご紹介します。

高校、大学には
受かったけど、
入学金や授業料が心配。

福祉の貸付制度が
あります。

認知症について教えて
欲しい。介護の悩みも
聞いて欲しい。

専門知識のある職員が
対応します。

地域の集まりや会社の
研修で、高齢者体験を
したいです。

体験セットあります。
社協職員が出張講座も
いたします。



何か地域に
お返しをしたい!

ボランティア活動、ご寄附など
様々な方法があります。
ご相談ください。

社協では各種事業を行っております。まずはお問い合わせください。

お問合せ 社会福祉法人寒川町社会福祉協議会

電話：0467-74-7621

《賛助会費》

1,115,000円

ボランティア活動事業をはじめとする町社協が行う地域福祉推進事業並びに福祉啓発事業に使わせていただきます。皆さまのご協力ありがとうございます。

※5月号の広報紙に平成30年度賛助会費をご納入いただいた皆さまをご紹介させていただく予定です。

(平成30年11月30日現在)



次の団体より、町社協へ金品のご寄附をいただきました。地域福祉事業推進のために役立させていただきます。ありがとうございます。 合計 191,669円、大鍋他14点、TOAスピーカー

個人

○橋本 悦子 ○濱田 品枝 ○今井 静二

団体

- 寒川町婦人会
- 寒川キリスト教会
- ピーターパンクラブ
- 寒川ライオンズクラブ・寒河江臥龍ライオンズクラブ
- 公益社団法人神奈川県LPガス協会湘南支部
- 茅ヶ崎・寒川部会
- ユーコープ湘南3エリア茅ヶ崎市民ふれあいまつり実行委員会
- 有限会社 寒川公衆衛生社
- 公益社団法人神奈川県生活水保全協会湘南支部
- いきいきソシアルOB会



社会福祉法人寒川町社会福祉協議会 会長 高橋 伸隆

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は当協議会に対し倍旧のご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

急激に進む少子高齢社会は日本の社会構造を根底から覆し、多くの行政サービスが地域で対応しなければならなくなりました。町や自治会の小単位でお互いが支え合い助け合う時代になってきたのです。特に福祉関連は老若男女を問わず物心両面に亘り、すべての住民で少しずつ出し合い支えていくことを求められています。当協議会は町の福祉事業を推進するためにボランティア活動や金員のご寄付等による善意の心を大切にし、福祉にやさしい町づくりのお手伝いをさせていただいています。どんなに些細な活動でも行動を起こす喜びを皆で分かち合うことが原点です。

「情けは人のためならず」の精神で全住民の皆様が福祉活動にご参加くださいますようお願いいたします。

本年も役員一同、町福祉行政の一助になれるよう努めて参りますので変わらぬご指導ご鞭撻をお願いいたします。

皆様にとりまして「己亥が幸多き一年になることをご祈念申し上げご挨拶いたします。

赤い羽根共同募金会より
福祉車両購入費を
一部助成いただきました

町社協では自力での移動がでない高齢者や障がい者の通院・通所等にご利用いただける移動サービスとして「福祉有償運送」を行っています。この事業で使用している車が老朽化のため、新車を購入いたしました。購入費の一部には赤い羽根共同募金の助成金を活用させていただきました。

地域の皆様からのご寄付の一部をさせていただき、福祉サービスの充実に役立たせていただいております。ご協力ありがとうございます。今後もよろしくお願いたします。



催し物・相談等のご案内

～行事のお知らせなどをまとめて掲載します～
※申込み、お問い合わせ等、記載の無い場合は町社協へどうぞ。電話番号等は1面に記載しています。

成年後見相談（要予約）

成年後見制度に関する相談をお受けします。

日 時：毎月第1金曜日（祝日の場合は翌週）

午後1時～3時 ※前日までに要予約

場 所：町健康管理センター

相談員：コスモス成年後見サポートセンター会員

心配ごと相談

福祉に関する相談を社協職員がお受けします。

日 時：月～金 午前8時30分～午後5時15分

（土日、祝祭日、年末年始は除く）

場 所：町健康管理センター 他

※職員が出向いての相談もお受けします。

紙おむつ代の一部を助成します

～1月は申請月です～

寝たきり高齢者や心身障がい児者等の紙おむつ代を助成します。

※申請できる方には基準があります。

大好評！みんなの健康セミナー開催

☆体幹を整えよう☆

お正月大！解消に！男性も大歓迎！

やさしいボディコンディショニング&リンパケア

日 時：1月16・23日・30日（いずれも水曜日）午前10時～12時

内 容：リズム体操、体幹トレーニング、
ストレッチ&リンパケア

参加費：1,000円（3回分）

講 師：スマイリー健康クラブ

原田氏（健康運動指導士）、川城氏

※詳細は、町社協へお問い合わせください。

成年後見講座

～何から始めればいいのか？

成年後見制度が必要なとき～

日 時：3月21日（木・祝）午前10時～12時

場 所：町健康管理センター

内 容：成年後見制度を使いたいと思った時に、
まず何から始めたらいいのか。弁護士が
分かりやすく解説します。

講 師：弁護士 内嶋順一氏

対 象：どなたでも

申込み：3月20日（水）までに町社協へ

★ボランティアの協力による一時保育があります。
乳幼児3人まで。要予約、先着順。

成年後見制度とは？

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、
判断能力が不十分な方を法的に保護する仕組み
です。家庭裁判所に申立て（申込み）をします。

ボランティアグループ「パワーズさむかわ」主催 パワーズさむかわ第16回男のクッキング教室

日 時：1月22日（火）午前10時～午後2時

場 所：町健康管理センター

対 象：60歳以上の男性20名

メニュー：野菜豊富なヘルシー餃子、炒飯、その他

講 師：寒川町食生活改善推進団体

参加費：600円（材料費、当日徴収）

申し込み：1月4日（金）から1月10日（木）までに電話

パワーズさむかわ TEL 74-8175（竹内）

ボランティアセンター TEL 72-3721

権利擁護関係コラム

認知症や知的障がい、精神障
がいなどを抱えながら、ひとり
暮らしをされている場合、

● 福祉サービスの利用手続き

● 預金の出し入れや公共料金を

● 日常の支払い

● 重要書類の保管

などが、自分の判断能力だけで
難しいことがあります。

『日常生活自立支援事業』に

ご相談ください。ご本人と町社
協の契約により、契約内容に

そって町社協がお手伝いしま
す。この契約行為を理解できる

判断能力がある方がご利用いた
だけます。

★お問い合わせは、町社協

地域福祉担当へ

町社協 活動報告

産業まつり

11/18
(日)

昨年も宮城県南三陸町の海産物を仕入れて販売したところ、午前中には全て完売となりました。ここ数年、南三陸町物産展を続けていますが、毎年楽しみにしていたと声をかけられるようになりました。

震災から7年。ボランティアから始まったつながりはこれからも続きます。



第6回 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会

11/29
(木)

行政をはじめ福祉関連事業所等が集まって、権利擁護の視点から情報交換、顔の見える関係づくり、学びあいをしています。今回は「多問題を抱える世帯」を題材に、参加者それぞれの所属機関が、どう連携しあって、多問題世帯へのチームワーク支援ができるのか、活発な情報交換をしました。寒川町ならではの支援体制、つながりづくりが広がっています。※次回は3月に開催予定です。町内の福祉関連事業所等に直接案内状を送付します。



こんにちは、地域包括支援センターです

高齢者のみなさまの相談窓口です

電話 0467-72-1294 FAX 0467-72-5552
〒253-0106 寒川町宮山165 町役場1階

★SOSネットワークって知ってますか?★

皆さん「〇〇にお住まいの〇〇さんが行方不明になっています」といった放送を耳にしませんか？

これは“徘徊老人のためのSOSネットワーク事業”といい、行方不明の方が少しでも早くご家族の元に帰れるよう、生命と安全を守るためのものです。

行方不明になることが心配なご本人、ご家族にむけて、町役場高齢介護課で事前登録のご案内ができます。

寒さも厳しい折、道に迷ってしまった方は早く見つけないと命に危険が及びます。放送が聞こえてきたらどうか耳を傾け、周囲を見渡してみてください。

認知症地域支援推進員 高橋愛美

ボランティアセンターからこんにちは!

ボランティアしたい! 頼みたい! を応援します

ふれあい・いきいきサロン
「障がい児者サロン」

障がい児者サロンは、障がいのある方とその家族、そしてボランティアの方も一緒に楽しい時間を過ごすことができ、交流の場となっています。

昨年12月にはクリスマス・ボウリング大会を開催しました。今後も、たくさんの方が楽しく過ごせる内容を企画します。ぜひご参加ください。

【次回開催】

3月30日(土) 午前10時~12時

現在、楽しい内容を計画中! 参加希望の方は、ボランティアセンターへご連絡ください♪



ボウリング大会の様子

寒川町社協ボランティアセンター

電話 0467-72-3721 FAX 0467-72-0277
メール vc3721@t-samukawa.or.jp
ツイッターはじめました
〒253-0106 寒川町宮山401 町健康管理センター 3階



ボランティアラビットの「ほらちゃん」

編集後記

最近、「平成最後」というワードを良く耳にします。最後と言われると何かしなきゃ!と思いますが、いつもと変わらぬ日常を過ごしています。今年も良い年になりますように。

特集 福祉大会と福祉作文



第35回
寒川町社会福祉協議会福祉大会

昨年11月10日(土)に福祉大会を開催いたしました。来場者220名という盛会の中、第1部ではプロボウラー遠藤千枝氏による「私とボウリング」の講演会を行いました。第2部の表彰式では地域活動への貢献や福祉作文の優秀作文発表など、本会から感謝を伝える場となりました。ここでは表彰の方々をご紹介します。(順不同・敬称略)

社会福祉功労者の表彰・感謝

1 表彰

◇社会福祉功労者

- 青木澄雄、金子由利子、小西悦子、高橋輪加子、前田久子、山口幸子、市本益子、山口茂、日吉潤子、江藤恵子、江原潤一
- ◇在宅高齢者介護者
井原喜久

2 感謝

◇多額寄附者

- 安楽寺彼岸会参加者一同、カトリック茅ヶ崎教会バザー委員会、河西工業福祉協議会、神奈川県自転車商協同組合、神奈川県茅ヶ崎寒川支部寒川北分会・南分会、日産労連日産工機労働組合、村松商事株式会社

3 神奈川県社会福祉協議会会長表彰(伝達)

- 青木澄雄、金子由利子、小西悦子、高橋輪加子、

- 前田久子、山口幸子、市本益子、山下洋美、大垣清香、今村真、鶴田清美、大山茂、澤田けい子

4 神奈川県共同募金会会長感謝(伝達)

- 田辺三佐江、館林英断、千葉保雄、森一光

5 神奈川県社会福祉大会受賞者(報告)

- 植田洋平、熊澤純恵、鈴木知佐子、三澤京子、船山純子

6 福祉作文優秀作品

◇小学生の部

- 磯村陽日、大村結南、小嶋幸矢、柴田康裕、寺島莉央、土橋俊介、鍋谷果凜、初鹿結月、早川流星、山田龍翔、峯田帆花、小林琉也、白水みらん、三上煌貴、高橋珠夢、佐藤優美、池田光汰、川口統、押川琢磨、舛水優花

◇中学生の部

- 今田真実、野上未来、伊藤遼那、稲本彩夏、大角太郎、梶田標名、朽木星苒、鮫島利騎、高石うらら、田所梨里、増田蓮、望月孝太郎、渡邊莉央、井出愛羅、田振美結

福祉作文について

小・中学生を対象に毎年募集している福祉作文ですが、今年は566編の応募がありました。その中で、小学生の部20編、中学生の部15編が優秀作文として選定されました。次のページからその一部をご紹介します。また、優秀作文をまとめた福祉作文集を町社協窓口にて配布しています。

小学生の部

不便な日常

寒川小学校四年 鍋谷 果凜

私のお兄ちゃんは夏休みに手術しました。今は、歩けないから、車イスや松葉づえを使っています。

お母さんは車イスを車に乗せたり、おろしたりしています。ものすごく重そうです。私も車イスをおす手伝いをしています。でも、おすのもかなりの力でおさないと前に進めません。

お店の中には、一センチメートルくらいのだん差がたくさんあります。歩いている時は、気づかなかったけれども、お兄ちゃんの車イスをおしていると、少しのだん差でもスムーズに通ることができません。そういう時は、お父さん、お母さんになんかたりしてもらいます。ちょっとしただん差がなかったら、「ずっと私がお兄ちゃんの車イスをおせるのにな。」と思って、残念な気持ちになります。

町の中にもだん差や、ほんのちよつとした坂があることに気付きました。歩道にのる前に数十センチメートルのなだらかな坂があつて、力を入れないと歩道にあがることができません。歩道から横断歩道にわた

る時もほんの少しの坂でもスピードがついて、私がついていけるよりもスピードが出て、びっくりしたこともあります。

私のお兄ちゃんは、一人で歩けるまでの間、車イスや松葉づえを使っているけれども、ずっと車イスや松葉づえを使って生活する人はとても不便な生活をずっとしているんだなと思いました。

私はお兄ちゃんの手術と入院で分かったことは、みんなが住みやすい町にしなければいけないと感じました。困っている人の立場になって、その人に何が必要かを考えていきたいと思いました。困っていたら、勇気がいるけれども自分から声をかけて、ほんの少しでも力になれたらいいなと思いました。



「ぼくのほちようき」

小谷小学校四年 池田 光汰

みなさんは、ほちようきを知っていますか？めがねをかけている人はよく見かけますが、ほちようきを付けている人は、少ないと思います。

ぼくは、生まれつきなん聴で、一年生の時からほ聴きを付けています。つけ始めた

時は、みんなに「なんだこれ」と聞かれましたが、「これを付けるとよく聞こえるんだ」と説明すると分かってくれる人が多くなり、みんなと同じようにすごすことができます。

でもときどき、しょう害者と言われてたり、じろじろ見られたりしていやな気持ちになります。その時家族が、「めがねをかけている人にむかってしょう害者と言う人はいない。見えにくいからかけているだけだから、ほ聴きも同じだよ。聞くのにふじゅうだからつけているだけ。だからそんなことを言われても気にすることない」と、教えてくれました。だから、ぼくは、毎日ほ聴きをつけて通えます。

見た目が人とはちがっても、おかしいと思わずに、その人に話かけてその人の事を理かいる事が、大切だと思います。

それと、ほ聴きをつけていると、ふつうの人より弱いと思われるかもしれないけど、ぼくはほ聴きをつけているとふつうの人よりよく聞こえるので、パワーアップしていると思います。ほ聴きは、ぼくのパワーアップアイテムです。

★本作文は神奈川県福祉作文コンクールにおいて「準優秀賞」に選ばれました。おめでとございます。

中学生の部



第二の人生
旭が丘中学校三年 大角 太郎

僕には御年七十四歳になる祖父がいます。祖父は七十歳で仕事を定年退職しました。毎日のように仕事に通っていた祖父から、毎日家に居る祖父へと変わって行きました。あんなに忙しい生活をしていたのに、いきなり自由な時間がある生活へと変化して、祖父は時間をどう使っているかわからなくなりました。遂に祖父はパチンコに行くようになってしまいました。

そしてある夜、祖父はパチンコから帰宅後、ビールを飲んだらしく、そのビールが原因で血圧が上がってしまい、お風呂場で倒れてしまいました。そのまま祖父は救急車で病院に運ばれます。幸い一ヶ月程で無事、退院することができたのですが、僕には一つ心配することができました。それは、また祖父がパチンコに通うのではないか、ということなのです。

しかし、退院後の祖父は、前とは別人に

なっていました。自ら、六十歳以上から会員になることができる、シルバー人材センターに入ると宣言したのです。シルバー人材センターには、祖父と同年代で祖父と同じように定年退職してから活動している人がたくさんいるそうです。「色々な人とコミュニケーションをとることができる。」と話す祖父の顔はニコニコしていて、僕は以前の祖父が戻ってきてくれたような気がして、とても安心しました。

シルバー人材センターの定義を調べると「高齢者が働くことを通じて、生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織」とあります。僕は、このような活動はとても良いことだと思います。実は祖父が活動するまで、定年退職した高齢者の方に大変な仕事をさせるのはどうなのか、という思いもありました。しかし、実際には自分でできる仕事を選ぶことが可能で、デメリットよりもメリットがあると気づくことができました。もちろん、「高齢者に重労働を長時間させて、若者が楽をする」などというおかしなサイクルがあるのだとしたら、それは今でも反対です。僕の祖父は、今はシルバー人材センターの他に畑仕事を始めて、新鮮な野菜を届けてくれます。庭の手入れや散歩など趣味もみつかったようです。

僕は、祖父のように定年退職してから、時間の使い方がわからなくなってしまったという人は世の中にたくさんいるのではないかと思います。仲間とにぎやかに過ごすのが好きな人や、一人の時間を大切に過ごす人、体を動かすのが好きな人、思うように体が動かせないなど、老後の生活は人それぞれです。僕の祖父に関しては、定年後、シルバー人材センターの活動を始めたことで、第二の人生ともいわれる老後の生活にメリハリをつけることができ、僕はこの組織にとっても感謝しています。

僕は、祖父とは時々二人で出かけることがある程、仲が良いです。一緒に出かけた時の祖父の顔は、とても楽しそうです。祖父を通して、僕が定年退職後の生活について一番思ったことは、何歳になっても自分の居場所があることは重要だということです。高齢者の活躍できる場所があるということは、健康で過ごせる健康寿命を延ばすことにつながるのではないかと、強く感じることもできました。このような環境がこれからも増え続けていけば、今よりもより良い高齢社会になっていくと僕は思います。

★本作文は神奈川県福祉作文コンクールにおいて「優秀賞」に選ばれました。おめでとうございます。



介護の大変さ

旭が丘中学校三年 渡邊 莉央

私の家族は六人で、その中に介護を必要とする祖父がいます。なぜ介護が必要になったのか？それは、十年前に急性心筋梗塞と大動脈瘤という病気になってしまい、手術時、血管の中にたまっていたかすが原因で足先の細胞が死んでしまい、足の指先を失いました。それと同時に膝から下に力が入らず、立つことも歩くことも出来なくなりました。

歩行が困難になってしまった祖父は、車イス生活が始まりました。今まで何でも出て来ていたことが全て一人で出来なくなってしまう、すべて人の手が必要となり、祖母や家族だけの手でおえない状況となってしまいました。そんな中、町役場へ相談し、色々な方々が祖父のために来てくれる事が決まりました。

まず、お風呂に入れるために訪問入浴の方が、三人来てくれます。看護師さんが一人、体温と血圧を測り、お風呂に入れるかどうかのチェックをして、体調がよければ、お風呂の浴槽を部屋へ運び入れて、介護ベットの横に入れてくれます。毎回、丁寧

に洗ってくれていて、話をしながら祖父はとても楽しそうに笑い声が聞こえてきます。

次に祖父が六年前に腎機能障害になり、人工透析も始まっていて、病院へ通うため、車の送迎も業者の方が来てくれます。天候に関係なく、決まった曜日、時間に送り迎えしてくれます。

そして、ヘルパーさん。祖母も働きに出ているので、家に誰もいなくなってしまう日もあります。そんな時、車イスの迎え入れや手足をふいてくれたり、食事の温めをしてくれます。

祖父のために来てくれる方々をケアマネージャーさんが、コントロールしてくれます。直接伝えにくい事も色々相談のつてくれて、細かな面でも気配りしてくれます。家族の見えない所で代わりに動いてくれて、とても助かります。

最後に祖母。祖母は、祖父の食事を作る時には、カロリーや栄養を考えて、工夫をしていますが、特にカリウムや塩分が制限されているので、献立が大変そうです。車イスに乗せたり、降ろしたり、トイレ面のお世話も腰を痛めながらやっています。色々なことに気を配り、祖父に接しているようです。

すべての方々を見ていて、私を感じたこ

とは、本当にみなさん優しい方ばかりです。仕事とはいえ、辛さを見せず、笑顔で対応してくれています。お風呂に入る日の祖父は、普段寝たきりなのに自分で起き上がり、元気な所を見せています。来てくれるだけでも祖父にとっても刺激にもなり、会話をしながら、笑顔にさせてくれたりと看護師さんと助手さんは、不思議な力を持っていると思います。車の送迎の方もヘルパーさんもケアマネージャーさんもみんな会話をしながら、祖父をなごませてくれます。色々な人がいる中で人は、天候と同じで気分が上がったり、下がったりする人もいます。思いやらない大変な仕事なんだと感じました。

介護にかかわる方達を見て、人と人の会話の大切さ、一人が大変にならないように色々な人のサポートと私もその中に少しでも役に立てるようになりたいと思います。まずは、お茶を入れて、お話しすること。そんな小さなことから始めていきたいと思っています。

